

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障害の有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

今年度の重点課題とした法人組織の安定化及び中長期的視点に立った計画策定については、新しい職員の採用を目指したものの叶わず、十分に取り組むことができなかった。

他方、限られた職員での効率的な業務遂行と大学等のボランティアや実習生の協力により、事業についてはほぼ計画通りに取り組むことができた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化したため、以下の事業を行った。

① 障害児・者の休日支援事業

支出額 9,264 千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障害のある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。今年度は事業の実施場所が校内の別教室に引っ越しとなり、占有利用ではなく共用利用となったが、学校とも協力しながら滞りなく運営することができた。

実施日：開所日数 285 日

月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校プレイルーム 1

スタッフ数：(述べ) 1,416 名

対象者：中原特別支援学校に在籍した児童・生徒

対象人数：(述べ) 2,767 名

B. 障害当事者と家族の余暇支援プログラム

障害の種別を問わない多様な障害当事者及び家族が集い、屋内外で楽しめるプログラムによって、仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。

実施日：動作法 10 日、外出活動 4 日

実施場所：さんかく（動作法）

玄海エネルギーパーク、マリノアシティ福岡、

マリンワールド海の中道、いのちのたび博物館（外出活動）

スタッフ数：

（延べ）講師 19 名、ボランティア 89 名、事務局 18 名（動作法）

（延べ）ボランティア 13 名、事務局 10 名（外出活動）

対象者：障害のある人及び家族

対象人数：（延べ）利用者・家族 75 組（動作法）、25 組（外出活動）

②障害者の就労に関する事業

支出額 318 千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障害のある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：通年

実施場所：地域行事、及び事務所

スタッフ数：（通年）事務局 2 名

対象者：（延べ）障害のある人や関係者 1,000 人

③福祉に関する相談支援事業

支出額 29 千円

A. コミュニティサロン

障害の有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：毎月第 2 水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：（通年）ボランティア 2 名、事務局 2 名

対象者：(延べ) 一般市民 161 名

B. 個別相談

福祉・障害等に関する相談について、定期的な面談を行い支援した。

実施日：9～12月(4回)

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：1名

対象者：一般市民1名

④障害児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

支出額 8千円

こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。

実施日：月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：事務所、など

スタッフ数：(通年) トレーナー1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 23名

⑥福祉啓発事業

支出額 509千円

A. 障害に関する啓発事業(委託事業：鳥栖市)

障害のある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：5/30、10/27、11/27、12/19、

実施場所：鳥栖市役所、若葉まちづくり推進センター、
鳥栖まちづくり推進センター

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 86 名

B. エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障害当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月（10 回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：(延べ) 講師 27 名、ボランティア 56 名、事務局 18 名

対象者：(延べ) ぴあ CAFE48 名、おや CAFE65 名、あなたの相談室 0 名
保育 43 名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障害福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

- 2017/04/25 [小郡] らいふステージ
【やりたいことを実現する】*講師
- 2017/05/14 [佐賀] 合同会社 ICHIZ（5 周年イベント）
【まこちゃんの地域で暮らして委員会】*ファシリテーター
- 2017/06/08 [太宰府] 筑紫女学園大学（肢体不自由者の心理・生理・病理）
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
- 2017/06/10 [佐賀] NPO 法人障害者自立生活センター ドリーム・ロード（講演会）
【私の過去・現在・未来】*講師
- 2017/06/19 [武雄] 武雄市ボランティア連絡協議会（レクリエーション交流会）
【楽しいボランティアのススメ～防災や福祉の前の“そもそも”の話～】
*講師
- 2017/07/19 [佐賀] 佐賀市（企業・事業所向け人権セミナー）
【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師
- 2017/08/26 [佐賀] 九州地区手をつなぐ育成会佐賀県大会
【第 2 分科会・暮らす】*コーディネーター
- 2017/10/26 [佐賀] 第 54 回九州地区肢体不自由教育研究大会佐賀大会
【インクルーシブな社会に生きる～特別支援教育に期待すること～】
*講師
- 2017/10/28 [鳥栖] とす市民活動センター（市民協働活性化シンポジウム）
【私にもできること きっとある～これからの市民活動に期待すること～】
*パネリスト
- 2017/12/10 [岡山] 心理リハビリテーションの会全国大会（岡山大会）
【分科会：トレーニーの会】*助言
- 2017/12/18 [鳥栖] 鳥栖市（ひかり園における合同研修）
【保護者対応について】*講師
- 2018/01/30 [柏原] 大阪教育大学（障がい者支援入門）
【障害って何だろう!?】*講師
- 2018/02/05 [佐賀] 内閣府・佐賀県
（障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム）
【パネルディスカッション】*パネリスト
- 2018/02/15 [佐賀] 佐賀大学（学生支援室【集中支援部門】全学 FD 講演会）
【佐賀における「障害者差別解消法」の取り組み】*講師

2018/02/16 [八女] 南筑後ブロック身体障害者福祉協会（役員・相談員研修会）

【障害って何だろう!?～誰もが自分らしく暮らせる社会～】*講師

2018/02/17 [鳥栖] 鳥栖市ボランティア連絡協議会（ボランティア活動研修会）

【楽しいボランティアのススメ】*講師

スタッフ数：（通年） 1名

対象者：（延べ）福祉関係者、一般市民、等 1,500名

⑦ 障害児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業

支出額 294千円

鳥栖市障害者理解基礎調査

鳥栖市障害福祉計画の基礎データとするため、障害者とその生活に関する関心度調査を行った。

実施日：平成29年8月～平成30年3月

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：5名

対象者：鳥栖市在住の20才以上の方

対象人数：2,000名（無作為抽出）

⑧ 児童福祉法に基づく事業

支出額 20,065千円

多機能型事業所さんかく

障害のある子ども達の健やかな成長を支援したために、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業を行った。

実施日：児童発達支援 月曜～金曜 9:00～14:00

放課後等デイサービス 月曜～金曜 14:00～17:00※延長 18:00

土曜 9:00～17:00（9:00～13:00、13:00～17:00の2部制）

長期休暇 9:00～17:00※延長 8:30～18:00

実施場所：さんかく（みやき町白壁）

スタッフ数：（述べ）1,607名

対象者：児童発達支援・未就学の児童

放課後等デイサービス・就学期の児童

対象人数：（延べ）2,138名

⑨障害者総合支援法に基づく事業

実施なし

⑩上記の事業を達成したために必要な事業

支出額 5千円

市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行うと共に、各種審議会等の委員としての政策提言等を行った。

<委員会、会議等>

- ア. 佐賀県スポーツ推進審議会（芹田：委員として）
- イ. 鳥栖市市庁舎整備基本計画策定委員会（芹田：委員として）
- ウ. 鳥栖市障害福祉計画・障害児福祉計画策定委員会（芹田：委員として）
- エ. 鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議（芹田：委員として）
- オ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会（芹田：委員として）
- カ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会（構成団体として）
- キ. 鳥栖市障害者理解促進実行委員会（芹田：委員として）
- ク. トリカイ人づくり応援基金（芹田：選考委員として）
- ケ. HAPPYぼうさいアドバイザー会議（芹田：委員として）

<イベント等>

- ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン※さんかく名義で
（イオン上峰ショッピングセンターに参加）
- イ. ふれあいスクール（芹田：校長として）
- ウ. チームABCD（構成団体として）
- エ. 市民フェスタ2017 in とす（構成団体として）

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施したため、以下の事業によって収入の確保に努める。

①自動販売機設置事業

支出額 12千円

本法人を支援した個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金面で補填した。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援した個人宅や企業内

スタッフ数：（通年）2名